

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (27年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

＜総合リハビリテーション学部 理学療法学科・作業療法学科＞

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況【資料1参照】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神戸学院大学教育開発センターFD部会 ・学部FD委員会 ・神戸学院大学自己点検評価委員会 ・学部自己点検評価小委員会 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>※旧組織である医療リハビリテーション学科理学療法学専攻・作業療法学専攻の状況を報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学部FD委員会は原則毎月1回開催（平成26年度は4回開催）【資料2】 委員会は、医療リハビリテーション学科の両専攻及び社会リハビリテーション学科からそれぞれ1名ずつ教員により3名で構成されている。平成26年度は4回全て、全委員が出席している。 ・自己点検評価小委員会は2か月に1回以上開催（構成員3名以上） <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学部FD委員会 「FD講演会、ワークショップ企画」「授業評価アンケート実施計画」「授業評価アンケート結果の公開と教員のコメントについて」「学生とFD委員との懇談会」「医療リハビリテーション学科実習指導者会議」「FD予算の割り当てによる学部FD活動の推進」 ・自己点検評価小委員会 「改善報告書（大学基準協会に提出する点検・評価報告書）の作成」「中期行動計画における中間報告書及び年次達成度報告書の作成」 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FD委員会主催のFD講演会、ワークショップを開催した。【詳細は、「c 開催状況」参照】 ・FD委員会では各授業終了直前（7月及び12月）に授業評価アンケートを実施し、各授業毎の結果を公表すると共に、そこに評価結果に対する担当教員からのコメントを付している。平成26年度よりWEB上で公開している。平成26年度は7月と12月に授業評価アンケートを実施し、平成26年7月分を平成26年10月に、平成26年12月分を平成27年3月に公開している。また、学術誌「神戸学院総合リハビリテーション研究」の第10巻2号（平成27年3月）に学部教員の論文及び当該年度における研究業績を記載した。 ・「学生とFD委員との懇談会」は平成26年7月9日に実施した。参加者 学生10名 教員3名【資料3】 ・理学療法学専攻において臨床実習施設の学生指導担当者とともに学生指導の質向上を図る臨床見学実習、臨床評価実習、理学療法臨床実習Ⅰ・Ⅱ指導者会議を平成26年2月28日に開催した。 ・作業療法学専攻において臨床実習施設の学生指導担当者とともに学生指導の質向上を図る臨床実習Ⅱ指導者会議を平成26年4月11日に開催した。 ・作業療法学科において臨床実習施設の学生指導担当者とともに学生指導の質向上を図る臨床実習Ⅱ指導者会議を平成27年4月12日に開催した。
--

b 実施方法

- ・「授業評価アンケート結果及び評価結果に対する担当教員からのコメントの公開」については学部教員及び学生にWEB上で公開した。また、学術誌「神戸学院総合リハビリテーション研究」は同一学問領域の学部学科を有する大学等（約170校）及び学内に配布した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

FD委員会主催のFD講演会、ワークショップを4回（平成26年度に3回、平成27年4月に1回）、臨床実習指導者会議を3回（平成26年度に2回、平成27年4月に1回）実施した。テーマと教員の参加人数は以下のとおりである。

・FD講演会

平成26年度

第1回：日時 平成26年 4月 12日（土）

テーマ「エンパワメントされる臨床実習とは ～メンタルヘルスを支援する立場から～」

講師 池田隆一（医療法人恵風会 高岡病院作業療法科） 参加者 学部教職員・臨床実習指導者 82名

第2回：日時 平成26年11月5日（水）

テーマ 「アクティブ・ラーニングー医療・福祉科目にどう組み込むか！ー」

講師 沖裕貴教授（立命館大学 教育開発推進機構）

コーディネーター 清水亮教授（本学教育開発センター）

参加者 学部教員27名 教育開発センター 5名

第3回：日時 平成26年2月28日（土）

テーマ 「臨床実習教育への提言ー実習形態と指導体制はどのように変わるのかー」

講師 吉元洋一教授（鹿児島大学医学部保健学科）

参加者 医療リハビリテーション学科理学療法学専攻教員 12名 臨床実習指導者 91名

平成27年度

第1回：日時：平成27年4月11日（土）

テーマ「私の実習指導法」講師：嶋尾英昭氏（西脇市立西脇病院 作業療法士）

参加者：作業療法学科教員14名、臨床実習指導者46名

・臨床実習指導者会議

平成26年度

第1回：日時 平成26年 4月 12日（土）

臨床実習Ⅱ指導者会議（医療リハビリテーション学科 作業療法学専攻）

参加者：実習指導者60名、教員14名

第2回：日時：平成27年2月28日（土）

臨床実習指導者会議（医療リハビリテーション学科 理学療法学専攻）

参加者：実習指導者80名、教員12名

平成27年度

第1回：日時 平成27年4月11日（土）臨床実習Ⅱ指導者会議（作業療法学科）

参加者：実習指導者46名、教員14名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・学生とFD委員との懇談会は、FD活動が教員側からの活動に限定されるべきものではなく、学生が参加して本来のFD活動というべきであると考えている。
- ・実習指導者会議により、実習教育のあり方について実習受け入れ側と大学側教員の互いに貴重な情報の交換がなされ、双方の教育目標について相互に理解が深まりたいへん有益な会議・交流会となった。今後も定期的な開催を計画し、実習受け入れ側（実習指導者）の参加者を増やしていきたい。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施している。実施時期は、各授業終了直前（7月及び12月）である。各授業毎の結果を公表すると共に、そこに評価結果に対する担当教員からのコメントを付している。平成26年度よりWEB上で公開している。平成26年度は7月と12月に授業評価アンケートを実施し、平成26年7月分を平成26年10月に、平成26年12月分を平成27年3月に公開している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員及び学生に対して、各授業毎の結果及び評価結果に対する担当教員からのコメントをWEB上で公開している。平成26年7月実施分を平成26年10月に、平成26年12月実施分を平成27年3月に公開した。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙・資料4参照

② 自己点検・評価報告書

【全学】

教育研究活動等の状況について自ら点検・評価を行い、その結果を公表することを学則、大学院学則に規定している。

本学の自己点検・評価を司る組織として、自己点検・評価に関する基本的な事項を審議し決定する自己点検評価委員会を設け、そのもとに各組織にかかる事項の自己点検・評価を実施し、当該報告書を作成するために、30以上の自己点検評価小委員会を置いている。さらに、自己点検・評価の内容等を第三者的な立場で検証するため、学外の学識経験者を構成員に含んだ自己点検評価結果検証委員会を設置するなど、体制を充実させ、積極的に自己点検・評価に取り組んでいる。

具体的には、平成24法人創立100周年を機に平成25年度から5年間に実施する施策をまとめた「中期行動計画」の年度毎の進捗評価を、「年次達成度報告書」でもって行うことを自己点検評価委員会で決定し、自己点検・評価を実施している。

なお、平成24年度の自己点検・評価をとりまとめた「2012年度改革・改善報告書」において、改革・改善が完了していない項目についても、「年次達成度報告書」でもって自己点検・評価を行った。

平成25年度、平成26年度ともに各年度の「年次達成度報告書」で自己点検・評価を行った。平成25年度の自己点検・評価の結果については、平成26年度に本学のホームページ上で公表を行った。平成26年度の自己点検・評価の結果の公表については、次項のとおり公表を行う予定である。

【総合リハビリテーション学部】

総合リハビリテーション学部の所管する事項についての具体的な施策を、「中期行動計画」として定めた。自己点検評価委員会もとの総合リハビリテーション学部自己点検評価小委員会にて、その実施状況等に関する自己点検・評価を行い、「年次中間報告書及び年次達成度報告書」としてまとめた。

a 公表（予定）時期

平成26年度の「年次達成度報告書」は、自己点検評価結果検証委員会において検証され、検証結果に基づき各自己点検評価小委員会にて加筆・修正するなど学内手続きを経て、平成27年度内に公表する。

b 公表方法

・大学ホームページ上で公表する

③ 認証評価を受ける計画

認証評価（公益財団法人大学基準協会）を平成30年度に受審する予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成27年 7月 1日)